

2025年度 第3回協調領域検討会

プロセス間連携WG BIM/CIMを活用したデータ連携サブWGの取組状況

2026年 1月 23日

進捗状況の報告

- 対象工事：首都高速道路（大師橋更新、新大宮上尾道路、日本橋区間地下化）
NEXCO東（調整中）、直轄国道
- 整理・抽出したEIRに対して、維持管理業務での利用頻度を踏まえて、竣工データの深掘り、および絞込み、工事竣工図書に反映
- 各種台帳のデータ登録について、ワークフローとデータフローを分解・整理し、全体の最適化を検討 → 最終的にはプロジェクト全体のデータマネジメントによる生産性向上
- 対象のオブジェクトと台帳のID（テーブル対象行）を自動で紐づけるシステムの検討
- 管理方針（水準）に基づいた、点検（損傷）台帳の紐づけを最適化するためのオブジェクトの単位（粒度）の定義
- ECIおよび施工BIM/CIM工事の竣工データから、維持管に必要な属性情報（EIR）を抽出
- 属性情報：基本属性情報に加え、必要に応じて（維持管理等で利用可能）利用属性情報、プロパティセットを付与

○第3回 データ連携サブWG (2025/6/16)

- 維持管理でのニーズについて、事例を深掘りして本当に必要な情報を最小限にすべき
- 新たなデータが必要となる場合、上流側（設計・施工）に負担が生じるため必要性について詳細に説明が必要
- また、情報をどのような形式で取得・整理・加工してほしいか、明確に伝えるべき
- 契約で定められていない項目を維持管理に必要という理由で施工者に求めると過度な負担となる可能性がある
- 維持管理のため、新たにデータ取得を依頼する場合は、特記仕様書などで明確に定めるべき
- 上流側（設計・施工）に多少の負荷がかかるのはやむを得ないが、生産性向上が必要
- 最小限からはじめて（スモールスタート）して、プラスアルファして増やすアプローチが良いのでは
- 工事中および完成後に発見された情報を図面に反映させる仕組みと、不具合があった際その情報が蓄積されていく仕組みが不可欠
- 様々な情報を後からでも紐づけられるようにしておくことが重要
- 工場溶接記録表など、データの保管方法・形式も含めた検討が必要
- 具体的な事例を通じて、現状の維持管理をどのように行い、どの程度の頻度で、どのような目的でデータを使用しているのかを整理することで、データの最適な保存方法や検索方法が明確になるのではないか
- 具体的なユースケースを設定し、事業の中で実際に試行して「このようなデータをこのような形で連携させると、生産性がこれだけ向上する」ということを示すべき
- NEXCO東日本で実装しているINDEX型高速検索アーカイブシステムについて、デモをご紹介いただいた

現在、首都高速道路（株）で事業中の以下のユースケースについて、竣工データから項目をしぼり、維持管理での利用頻度、どのような形での連携（オブジェクト等との連携も含めて）が、維持管理業務の生産性向上に寄与するか、試行・検証する。

- 対象工事：首都高速道路 大師橋更新工事
- 整理・抽出したEIRに基づき、竣工データを抽出
- 維持管理業務での利用頻度を踏まえて、データの深掘りおよび絞込み
- 各台帳のデータ連携並びにオブジェクトに紐づけるIDの検討、メタデータ化のルール検討
- 対象オブジェクトとIDを（自動）紐づけるシステム検討

検討スケジュール（案）

		2023年度				2024年度				2025年度				
		4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	
サブWG		▲		▲			▲		▲					
幹事会				▲		▲	▲	▲	▲					
第一フェーズ	全体方針	■												
	維持管理で必要となる属性情報の抽出・整理	■												
	属性情報に対するヒアリング		■											
	維持管理で必要となる属性情報の取りまとめ			■										
	施工者等への属性情報の確認				■									
	各事業者への水平展開				■									
	事業者間調整					■				■				
	各WG、各協会等に意見照会・ヒアリング								■					
	ユースケースを踏まえた属性情報の抽出、形式、フォーマットの検討										■			
	メタデータ化・タグ付けの標準化検討											■		
第二フェーズ	GISを活用したプラットフォームとの連携検討										■			
	データ連携のプロトタイプ検討・構築										■			
	基盤の運営検討サブWGとの連携検討								■					
	鋼道路橋での実装検討										■			

首都高で先行実施し、各事業者へ水平展開

i-Constructionシステム学寄付講座 協調領域検討会

プロセス間連携WG BIM/CIMを活用したデータ連携サブWG (第3回)

2025年 6月16日

i-Constructionシステム学寄付講座 協調領域検討会

2024年3月現在

i-Constructionシステム学寄付講座
協調領域検討会
(2022年2月～)

インフラCDE
協議会(仮)
設立準備会
(2024.6～2024.9)

全体会議
事務局；東京大学

幹事会

設計WG
事務局；建設コンサルタンツ協会
関係団体：
全国地質調査業協会連合会
全国測量設計業協会連合会
OCF

施工WG
事務局；日本建設業連合会
関係団体：
日本建設機械施工協会
測量機器工業会
OCF

維持管理WG
事務局；国土交通省
関係団体：
建設コンサルタンツ協会
OCF

プロセス間連携WG
事務局；東京大学
関係団体：
building SMART Japan
日本橋梁建設協会

「ブロックチェーン技術及び連
携基盤の導入検証」
サブWG1・2 (大林・清水)

「災害事例データの連携基盤構
築に向けた課題検討」
サブWG3 (鹿島)

河川
サブWG

道路
サブWG

橋梁下部工
サブWG

砂防
サブWG

BIM/CIMを活用した
データ連携サブWG

基盤の運営検討
サブWG
(2023,7～2024.3)

検討体制 BIM/CIMを活用したデータ連携サブWG

プロセス間連携WG (2023年4月設置)

計画・調査から、設計・施工・維持管理・運営段階に至るプロセス間で**データ連携するための方法、仕組み**などを検討する

【体制】

他のWG及びサブWGの主査と幹事会メンバー

BIM/CIMを活用したデータ連携サブWG (2023年4月設置)

BIM/CIMを活用した設計・施工・維持管理間で連携が必要なデータの整理及びデータ連携の方法と仕組みなどを検討し、**先行事例を参考にしつつ、具体的なユースケースを通して有効性を確認し、社会実装のための戦略を提案**する

【体制】

土橋浩（東京大学 客員研究員/首都高速道路技術センター 副理事長）
石原康弘（東京大学 客員研究員/日本橋梁建設協会 副会長・専務理事）
小澤一雅（東京大学 特任教授）
国土交通省 国道・技術課、技術調査課、関東地方整備局 道路部
NEXCO東日本・中日本・西日本、首都高、阪神高速
日本建設業連合会
建設コンサルタント協会
日本橋梁建設協会
buildingSMART Japan
OCF

GISを活用したデータ連携サブWG

基盤の運営検討サブWG
(2023年7月設置)

データ連携サブWG幹事会 (2023年12月設置)

BIM/CIMを活用した設計・施工・維持管理間で連携が必要なデータの整理及びデータ連携の方法と仕組みなどの**具体的な内容**について、**機動的に情報共有・交換**する

【体制】

国土交通省、関東地方整備局
NEXCO東日本・中日本・西日本、阪神高速、首都高速、首都高速道路技術センター

データ連携サブWGの検討内容及び検討方針

□ データ連携する維持管理で必要となる属性情報の整理は、**当面は鋼道路橋に特化**して検討を進める

【第一フェーズ】

- 維持管理で必要となる**属性情報の整理**、現状のデータベースに活用（検索、トレース）できる形式で保管されているか確認、現場ニーズの確認、反映
- 上記で整理した属性情報が、**調査・設計、施工の上流段階で存在するか**、またどのような**ファイル形式で保管**されているか整理
- **データ連携**を踏まえた**属性情報の形式、データフォーマット**の検討
- 先行事例を参考にしつつ、**具体的な現場でのユースケース**を通して有効性を確認・検証し、社会実装に向けた戦略を検討・提案
⇒ **直轄工事、NEXCO東・中・西、首都高速、阪神高速の工事**を対象工事として有効性の確認・検証を実施

【第二フェーズ】

- GISを活用したデータ連携サブWGと連携し、上記データとデータプラットフォーム（BIM/CIMモデルを含む）との連携について検討し、プロトタイプを構築

データ連携サブWGの検討状況

○第1回 データ連携サブWG（2023/4/14）

- サブWG設立の趣旨説明
- 不具合事象のデータも対象とし、検索性の向上・トレーサビリティについて検討
- 建設時からのデータの引継ぎができるよう、現場のニーズを反映した整理
- 維持管理段階から、必要なデータを建設段階で整理が必要
- COBieなどのデータ変換形式の活用し、維持管理に必要なデータの抽出、Excelで管理

○第2回 データ連携サブWG（2023/11/20）

- 維持管理に必要な属性情報（EIR）を、オブジェクト階層5の位置付けからオブジェクトへの連携に変更
- 首都高を事例に、平時及び災害時を含めてEIRの抽出・整理し、ヒアリング結果を報告
- ヒアリング結果を踏まえ、ファイル形式、情報の持ち方・持たせ方、空間要素の付与、また検索性の向上に対してインデックス（タグ付け）のルール化などについて検討が必要
- 階層ではなく、メタデータ・タグで検索する方が安全、また各段階でモデルも変わるため、ルール化が必要
- 維持管理に加え、設計、施工段階のEIRもあるが、アセットマネジメントを意識し、維持管理から着手
- モデルについては、ユースケースを踏まえ検討
- EIRの共通範囲について検討、今後、直轄、各高速道路会社への水平展開にあたって、幹事会を設置して検討

BIM/CIMを活用したデータ連携サブWG 幹事会の検討状況

○第1回 データ連携サブWG幹事会（2023/12/22）

- ・維持管理に必要な属性情報（EIR）の抽出・整理を各事業者へ依頼

○第2回 データ連携サブWG幹事会（2024/5/22）

- ・ 各事業者共通の維持管理で必要となる属性情報と理想とするファイル形式の整理
 - ⇒ 維持管理従事者が必要とする**情報項目は概ね共通**。但し、**都市内・都市間で若干特性あり**（高架下条件等）
 - ※ **課題：協調領域が目指す将来像（ユースケース）によって“情報の熟度”が異なる**
 - ⇒ 受発注者間で**効率的にシステム連携（インポート&エクスポート）できるファイル形式**を取りまとめ
 - ※ **課題：現行ガイドラインで定めている電子納品のファイル形式の問題点が不明確（図面：SXF形式）**
- ・ 協調領域のユースケースの一つである**不具合発生時の対応事例調査**を各事業者へ依頼

○第3回 データ連携サブWG幹事会（2024/9/2）

- ・維持管理に必要な属性情報（EIR）の共通範囲検討
- ・不具合（施工不良、瑕疵等）発生時の対応事例の共有

○第4回 データ連携サブWG幹事会（2024/10/9）

- ・各社からBIM/CIMに関わる最新技術・事例紹介：**INDEX型高速検索サービス（既存のテキストデータ（手書文字/DW/イメージ内の文字）から文字（フリーワード）検索、自動タグ付け・INDEX化するシステム）**
- ・次回に協調領域に期待するユースケース等（不具合事象の対応に関する深掘り）を議論予定

BIM/CIMを活用したデータ連携サブWGの検討項目

- データ連携に関する課題を解決するため、鋼道路橋に特化して議論・対応を実施中
- 具体的な現場でのユースケースを通して有効性を確認・検証し、社会実装に向けた戦略を検討・提案

1. 必要な属性情報の整理 ※幹事会で検討・整理し、一定の整理を行った

- ・ 各事業者が維持管理（平時、平時以外）に必要な属性情報の整理
- ・ ユースケースに対して、検索を容易にするため、どの属性情報をどのようなファイル形式で持つか検討

2. 各プロセスでのモデルのあり方

- ・ 各プロセスで目的に応じたモデルが作成・活用できるようデータ要件（維持管理と施工時に必要なモデルと異なる、3次元モデルの必要性、2次元モデルの活用）を検討

3. メタデータ化・タグ付けの標準化 ※幹事会で検討中

- ・ 既存のデータ：INDEX型高速検索サービスの検証中（テキスト検索、自動タグ付け）
- ・ 新設のデータ：属性情報のID（メタデータラベル、INDEX）、データの持ち方・モデルへの紐づけ方の検討

4. ソフトウェア・システム

- ・ 属性情報の閲覧、検索を効率化・省力化
- ・ 既存ソフトウェア検証、最新技術動向調査、事例収集

(参考資料-1) 維持管理に必要な属性情報 (EIR) の共通範囲検討

	対象	直轄			N東		N中		N西		首都		阪神	
		補修設計	補修工事	診断	平時	非常・特定更新	平時	非常・特定更新	平時	非常・特定更新	平時	非常・改築	平時	非常・改築
建設時 調査・設計	測量データ													
	地質調査報告書													
	地質縦断面・地質横断面													
	柱状図													
	ボーリングコア (写真含む)													
	線形計算書													
	線形図													
	設計図面 (基本設計)													
	設計計算書													
	数量計算書													
建設時 設計及び 工場製作	照査報告書													
	製作要領書													
	使用材料明細書													
	工場溶接記録表													
	工場塗装記録表													
	部材検査関係書類													
	仮組立検査関係書類													
	施工体制 (工場)													
	ミルシート													
	建設時 現場施工	路線概要図												
しゅん功図														
施工計画書														
架設検査関係書類														
高力ボルト締付検査関係書類														
現場溶接非破壊検査関係書類														
材料承諾・使用届														
コンクリート品質関係書類														
コンクリート出来形関係書類														
PC鋼材品質関係書類														
現場施工	プレストレストコンクリート構造物 工 施工記録設計図													
	工法変更書類													
	現場塗装記録													
	作業計画書													
	施工体制台帳													
	工事記録写真													
	工事記録情報													
	初期点検カルテ													
	道路使用協賛書													
	交通規制協賛書													

	対象	直轄			N東		N中		N西		首都		阪神	
		補修設計	補修工事	診断	平時	非常・特定更新	平時	非常・特定更新	平時	非常・特定更新	平時	非常・改築	平時	非常・改築
維持管理	河川協議書													
	交差道路関係協議書													
	埋設物関係協議書													
	架空線関係協議書													
	用地図面 (管理者)													
	高架下条件													
	高架下道路管理書													
	所轄管轄													
	所轄消防													
	地質調査データ													
地下埋台帳														
支障物件報告書														
維持管理	管理用図面													
	橋梁台帳													
	点検記録													
	点検写真													
	補修記録													
	小補修計画													
	床面上面調査結果 (赤外線、電磁波レーダー)													
	床下面調査結果													
	床面コンクリート等物性調査結果 (圧縮、引張、静弾性係数、塩分量、中性化等)													
	補修工事写真													
検査路・アクセスルート														
建築限界														
から線(日本国標準軌ラッシュ設備)														
支保 橋脚防止 ダンパー 伸縮装置 他	全周図検査													
	点群データ													
	道路協議書													
	河川協議書													
	架空線関係協議書													
	現地調査資料 (高架下条件、門扉、アクセス等)													
	本線規制情報													
	種類・形式													
	製品名・メーカー													
	設計図面													
施設物関連	設計計算書													
	材料検査報告書													
	性能試験報告書													
	製造工場													
	設置年月日													
	施工会社 (下請け含む)													
	電気施設等の埋設管等配置図													
	ケーブル種別													
	本体構造物への牽引施設物													

※黒字・未着色
概ね共通となる項目

※赤字・未着色
他に類似がある項目

※赤字・黄着色
1社など特殊な項目



項目は同じであっても、
事業者により管理単位
や内容が異なる！

※事業者を横断した
検索は困難

(参考資料-2) 維持管理業務に必要な属性情報とファイル形式

- ヒアリング結果から維持管理業務に必要な属性情報として、**全事業者共通の項目をリスト化**
- 設計・施工・維持管理の各段階で**インポート、エクスポートしやすい標準的なファイル形式**を要望し、各業界団体からの意見に対して、各事業者で再度検討を実施
- 現状の**電子納品作成要領、運用ガイドライン等の改訂**について検討が必要

		ファイル形式	
		現在	理想
建設時 調査・設計	測量データ	PDF、紙、TIFF	CAD
	地質調査報告書	PDF、紙、TIFF	PDF
	地質縦断図・地質横断図	PDF、紙、TIFF	CAD
	柱状図	PDF、紙、TIFF	CAD
	ボーリングコア（写真含む）	PDF、紙、TIFF	PDF（写真：JPEG）
建設時	設計図面（詳細設計）	PDF、紙、TIFF、CAD	CAD
	設計計算書	PDF、紙、TIFF	PDF
	数量計算書	PDF、紙、TIFF	CSV
設計及び	照査報告書	PDF、紙、TIFF	PDF
	製作要領書	PDF、紙、TIFF	PDF
工場製作	使用材料明細書	PDF、紙、TIFF	PDF

現行の電子納品ガイドラインからみたファイル形式における本質的な課題は？

①求める属性情報のリスト

②理想とするファイル形式

BIM/CIMを活用したデータ連携サブWG 幹事会の検討状況

< 協調領域が目指す将来像の整理 >

協調領域で扱う共通データを決めるにあたっては、目指す将来像（ユースケース）の整理が必要

○協調領域のユースケース調査

- ・各事業者が協調領域に期待するユースケース
（不具合事象の対応事例もユースケースの1つ）

○協調領域のデータ連携に関わる現状の課題

- ・各事業者の現電子納品におけるファイル形式の課題
- ・その他想定される課題
例：既設構造物への展開をどう考えるか

< 実現方法の検討 >

実現方法の検討にあたっては、最新技術の動向や各事業者の取り組みを勘案することが必要

○最新技術の動向調査

- 例：様式に依らず、任意条件で横断的な検索できる技術等

○BIM/CIMの取り組み事例調査

- ・鋼上部工の建設・保全でBIM/CIMを適用した事例
（内容、仕様（モデル・属性情報）、効果等）



維持管理に必要な属性情報（EIR）の共通範囲について議論し、一定の整理ができたので、

⇒ 『BIM/CIMを活用したデータ連携サブWG』から、設計WG、施工WG、維持管理WGに意見照会およびヒアリングを実施し、プロセス間での整合を図りたい。 加えて全地連、橋建協等と意見交換を順次実施

各WG及び関係団体との意見交換の概要

○ 設計WGと意見交換（2025/1/30）

- ・ 維持管理（平時・緊急時）に必要なEIRについて意見交換
- ・ 上記EIR並びにファイル形式の確認を設計WGに依頼

○ 施工WGと意見交換（2025/2/70）

- ・ 維持管理（平時・緊急時）に必要なEIR並びにファイル形式について意見交換
⇒ データ活用や検索性向上の視点から、ファイル形式というより、メタデータの設定がポイント

○ 建コン協 道路構造物専門委員会と意見交換（2025/2/21）

- ・ 整理したEIRについて意見交換、建コン協として最低限必要と考える情報について抽出（参考資料②）
⇒ それぞれの立場（事業者、設計、施工者）で、必要なデータの整理が必要
⇒ データのモデルへの付与について、ユースケースを踏まえて直接/間接について検討が必要

○ 維持管理WGと意見交換（2025/3/4）

- ・ 維持管理で必要となるデータの絞り込み、効率的な管理がポイント
- ・ データの持ち方、保管方法などについて検討が必要
- ・ 平時に加え、不具合事象発生時の施設データ等の管理、検索は重要なポイント

○ 第1回 維持管理WG（2025/4/21）に参加（R6第3回維持管理WG(2024/12/13)オブザーバー参加）

- ・ BIM/CIMを活用したデータ連携サブWGの取り組み状況について情報提供、意見交換

(参考資料-3) 建コン協 道路構造物専門委員会抽出によるEIR

	対象	直轄			N東		N中		N西		首都		阪神		建コン	
		補修設計	補修工事	診断	平時	非常・特定更新	平時	非常・特定更新	平時	非常・特定更新	平時	非常・改築	平時	非常・改築	平時	非常・改築
建設時	測量データ	○				○		○	○			○	○			
	地質調査報告書	○		○	○	○		○								
	地質縦断面・地質横断面	○		○	○	○		○								
調査・設計	柱状図	○	○	○	○	○		○								
	ボーリングコア (写真含む)	○		○	○	○		○								
	線形計算書	○		○	○	○		○			○	○	○		○	
	線形図	○		○	○	○		○			○	○	○		○	
	設計図面 (基本設計)	○	○	○	○	○		○								
	設計計算書	○	○	○	○	○		○								
	数量計算書	○		○	○	○		○								
	照査報告書															
	設計図面 (詳細設計)	○	○	○	○	○		○							○	○
建設時	設計計算書	○	○	○	○	○		○							○	○
	数量計算書	○		○	○	○		○							○	○
設計及び	照査報告書															
	製作要領書															
工場製作	使用材料明細書	○		○	○	○		○								
	工場溶接記録表			○	○	○		○								
	工場塗装記録表			○	○	○		○								
	部材検査関係書類			○	○	○		○								
	仮組立検査関係書類			○	○	○		○								
	施工体制 (工場)															
	ミルシート			○						○	○					
建設時	路線概要図															
	しゅん功図	○	○	○	○	○		○							○	○
	施工計画書	○		○	○	○		○								
	架設検査関係書類	○		○	○	○		○								
現場施工	高力ボルト締付検査関係書類	○		○	○	○		○								
	現場溶接非破壊検査関係書類	○		○	○	○		○								
	材料承諾・使用届	○		○	○	○		○								
	コンクリート品質関係書類	○		○	○	○		○								
	コンクリート出来形関係書類	○		○	○	○		○								
	P C鋼材品質関係書類	○		○	○	○		○								
	プレストレストコンクリート構造物 施工記録設計図	○		○				○	○							

維持管理	管理用図面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	橋梁台帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	点検記録	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	点検写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	補修記録	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小補修図面																○
	床版上面調査結果 (赤外線、電磁波レーダー)																○
	床版下面調査結果																○
	床版コンクリート等物性値調査結果 (圧縮、引張、静弾性係数、水分量、中性化等)																○
	補修工事写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	検査路・アクセスルート																○
	建築限界																○
	みち録 (日常点検車ドラレコ映像)																○
	全周囲映像	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	点群データ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	道路協議書																○
	河川協議書																○
	架空線関係協議書																○
	現地調査資料 (高架下条件、門扉、アクセス等)																○
	本線規制情報																○
支承	種類・形式	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
落橋防止	製品名・メーカー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ダンパー	設計図面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
伸縮装置	設計計算書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
他	材料検査報告書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	性能試験報告書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	製造工場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	設置年月日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	施工会社 (下請け含む)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
施設物関連	電気施設等の埋設管等配置図	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ケーブル種別	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	本体構造物への添架施設物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

今後の進め方（案）

新たな体制で、引き続き、設計WG、施工WG、維持管理WG並びに関係団体と、引き続き以下の内容について、ユースケースに基づき検討を進めたい。

- 各立場（設計者、施工者、事業者・管理者）で必要なデータ（EIR）について継続して確認
- EIRについて、データの検索性を向上させるため、**メタデータの整理、設定を検討**
- ユースケースを想定しEIRを絞り込み、プロセス間で連携可能となるよう、**メタデータのプロトタイプについて試行（スモールスタート）**
- データのモデルへの付与について、**ユースケースに応じた付与方法（直接・間接付与）等について検討**

また、以下の検討については、今後プロジェクトCDEやインフラCDE協議会の状況も踏まえて進める

- **データ連携のシステム化**については、**各WGや関係団体と連携したシステムの開発**
- データ量の増大に対して、**サービス水準に応じたデータの保有、保管方法など**
- **ストレージの準備、管理の方法**

検討スケジュール（案）

		2023年度				2024年度				2025年度			
		4	7	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1
サブWG		▲		▲						▲		▲	
幹事会				▲		▲	▲	▲			▲	▲	
第一フェーズ	全体方針	■											
	維持管理で必要となる属性情報の抽出・整理	■											
	属性情報に対するヒアリング		■										
	維持管理で必要となる属性情報の取りまとめ			■									
	施工者等への属性情報の確認				■								
	各事業者への水平展開				■								
	事業者間調整					■					■		
	各WG、各協会等に意見照会・ヒアリング								■				
	ユースケースを踏まえた属性情報の形式、フォーマットの検討						■						
	メタデータ化・タグ付けの標準化検討									■			
第二フェーズ	GISを活用したプラットフォームとの連携検討											■	
	データ連携のプロトタイプ検討・構築											■	
	基盤の運営検討サブWGとの連携検討								■				
	鋼道路橋での実装検討											■	

首都高で先行実施し、各事業者へ水平展開

